

富良野市廃棄物減量等推進審議会（令和2年度第1回）会議録

日時 令和3年3月23日（火）13時30分～14時40分

場所 市役所 大会議室

出席者 委員：高橋穰二、中野義弘、寺島聡、増田義樹、鎌田勲、平間早苗、
軽米達也（7名出席）
（欠席委員）関野孝子、吉田末子

理事者 市長 北 猛俊

事務局：市民生活部長 山下俊明、環境課長 高橋秀文、環境係長 西尾善行、環境係 本間美保

1. 開会（進行：高橋課長）

2. 市長挨拶

- ・リサイクルのまちからゼロカーボンシティへ
- ・プラスチックごみ削減の取組を通じて目指していく方向性について

3. 委員長挨拶（軽米委員長）

4. 報告事項（議長：軽米委員長により進行）

- 1) コロナ禍における一般廃棄物の排出状況について（資料1）
- 2) 食品ロスの取組みについて（資料2）
- 3) レジ袋有料化に伴うプラスチックごみ削減の取組みについて（資料3）

※事務局（西尾）より資料1～3まで説明

質疑応答

高橋委員：廃棄物の処理及びリサイクル事業概要の説明はないのか。

事務局：今回配布した令和2年度廃棄物の処理及びリサイクル事業概要については、令和元年度までの廃棄物処理実績の記載となっているため、コロナ禍における令和2年の状況は記載されていないことから、今回報告事項として令和2年と過去2年間の比較の表で説明させていただいたことから説明は行わなかった。

高田委員：昨年、審議会が行われなかった（報告事項の資料送付のみ）ため、2年間分の事業概要報告をする予定はあるのか。

事務局：令和3年度の事業概要ができたときに、2年度の実績も含めて報告したいと考えている。

高橋委員：減量を推進する本審議会の目的からも、早めに細かい内容を委員に説明頂きたい。

事務局：次年度、対応していきたい。

事務局：報告事項（資料3）の補足説明として、エコバックの無料配布について、令和3年度も無料配布の実施を行う予定でいる。無料配布を通じてごみ減量化をPRしていきたい。

5. 議 題

- 1) 富良野市災害廃棄物処理計画について

※事務局（高橋課長）より説明。

質疑応答

増田委員：3月2日の大雪によりビニールハウスの倒壊があったが、仮置き場の確保をお願いしたい。

事務局：災害廃棄物として、市の施設で処理するよう進めている。詳細が決まれば、被災された農家にチラシを郵送する。受入れは、ビニール、鉄パイプを予定している。

高橋委員：素案ができた段階で、委員の皆様にもまた審議いただくことがよい。

事務局：計画と資料編合わせて100ページくらいのものを送付したい。

軽米委員長：今後の予定として4月に素案策定、5月に素案の送付、6月に審議会の開催し協議を行う予定で進める。

6. その他

平間委員：マルシェで開催しているフリーマーケットは、来年度は開催するのか。

事務局：令和2年度は新型コロナウイルスの影響で開催できなかったが、令和3年度は、9月と2月の2回開催したいと考えている。

中野委員：家電リサイクル法に基づく4品目は電機店で処理しているが、それ以外の家電の処理もお願いされるケースがあるので、そちらは市の粗大ごみで出すようお願いしている。我々事業者が粗大ごみを処分するとなると料金はかなり高額だが、市の粗大ごみ料金はかなり安い。

レジ袋有料化がスタートしたが、当店ではレジ袋を必要とする人はほとんどいない。プラスチックごみ削減の意識が高い。

鎌田委員：ごみ袋に住居表示を記載できるスペースを作って欲しい。

事務局：スペースをつくるとなると袋の製版を一新しなければならないので、指定袋の値段が高くなる可能性があるので次回の審議会までに確認しておきたい。

高橋委員：裏面は印字されていないので、裏面を使うということも考えてみてはどうか。

事務局：ごみ分別アプリを使って今月から大型ごみの申し込みができるようになった。使ってみて感想・ご意見を頂ければ、重ね使いやすいように改良していきたい。

7. 閉会

次回は令和3年6月頃開催し、災害廃棄物処理計画の審議を行う。